



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Rollback Malaria

2022年

4月



2021-22年度 会長テーマ「地域と繋がろう・地域に知られよう」

関東東部部長 大澤和子（所沢）「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

東日本区理事 大久保知宏（宇都宮）「私たちは次の世代のために何ができるか？」

アジア地域会長 Ohno Ben（大野勉・神戸ポート）“Make a difference beyond the 100th” “100年を越えて変革しよう”

国際会長 キム・サンチェ（韓国）“Y's Men with the World” “世界とともにワイズメン”

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上松寛茂 / 書記 水無瀬隆造 / 会計 三浦雄二
直前会長 上松寛茂 / ブリテン 水無瀬隆造・浅羽俊一郎 / 担当主事 小谷全人



会長の挨拶

浅羽俊一郎



ロシア軍によるウクライナ侵攻が2ヶ月目に突入し、多くのウクライナ市民が殺され、またさらに多くが国外に避難しているというニュースが連日報道されていますが、思いだすべきはウクライナ東部の国境地域ではロシア軍との紛

争は2014年以來続いており、既に150万人が国内避難民としての生活を8年間強いられていたことです。それに関連して嬉しいニュースもありました。日本YMCA同盟がヨーロッパ同盟と協力してウクライナ女性を日本に招き、国内に住む娘さんとの再会を果たしたことです。YMCAにとって難民・人道活動や人道教育を大きな柱の一つと位置付けてもらいたいものです。そもそもイエスさまご自身生まれて間もなく両親とともに迫害を逃れてエジプトに避難したことを思い起こせば「難民」は他人事ではないのです。



ところで見沼の市民田んぼ活動は腰を痛めて無理はできませんが、仲間から参加することに意義あり、と励まされて3年目に突入。写真は放置された畑地

を田んぼに再生するのに邪魔な切り株の抜根作業をする男ども。女性たちは畑の地中に散在するプラスチック屑の拾い出しという地道な作業。右上の写真は里山に生えていた埼玉県の準絶滅品種の浦島草です。❖

今月の聖句

「それからイエスは、モーセやすべての予言者たちから初めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを、彼らに説明された。」

（ルカによる福音書 24:27）

私の心に触れた言葉

水無瀬隆造

「イエスは彼らに言われた。私が道で有り真理であり、いのちなのです。わたしを通じてで無ければ、誰も父のみもと行くことはできません。」

（ヨハネによる福音書 14:6）

この御言葉は、私がキリスト教を知り「神を信じようか」、「いや神なんて居ない」とさまよって居る時に、示された御言葉です。イエス様は自分を信じる事により、神の元にいけます。私を通じてで無ければ誰も神の元にいけません、とハッキリと述べられて居ます。神の元に行けるとは何と幸いな事でしょう。私の胸に熱い者物入り込み直ちにキリストを信じる幸いに預かりました。信じることは何と幸いな事と思う御言葉です。

4月「18歳は成人」例会 案内

日時：4月25日(月) 午後2時～4時
会場：「き咲きてらす」(浦和区木崎3-6-6)
開会：点鐘・モットー・ソング・聖句・祈祷
ゲスト紹介・誕生日/祝い事

- ・協議（今後の活動・5月合同例会打合せ）
- ・歌と親睦・諸報告

- * コロナ対策は皆さんで心がけてください。
- * 準備・後片付けは率先垂範で。

◆ 3月「ウクライナ」例会メモ



3月例会は「ウクライナ」と命名しました。スクリーン越しでなく、リアルな例会を持つことができました。クラブメンバーはもとより参加された皆さん、人数こそ少なかったですが、男女バランスよくとても充実した例会となりました。卓話にはプロフェッショナル・チューターの浦野都光(くにみつ)氏を招いて「なぜ対話する場所が必要か」という演題で彼の長年の専門家庭教師として実体験から今日の教育についての問題点を語ってもらいました。改めて安直な点数稼ぎ型の教師・優等生を生み出している今の学校教育と生徒が真理を探る手助けをする対話型教育・親をも交えた教育の必要を教えられました。後半は居場所の必要性・関係重視の社会構成主義について語られましたが、記録者は理解半分でした。あとの話し合いではそもそも親子に対話はあるか、という現代的な問題提起もありました。

息抜きにはウクライナ・ロシアの人々のことを思いつつ「カチューシャ」を皆で歌いました。閉会後も皆残ってコーヒーを飲みながら親睦のひと時を楽しみました。

なお、久しぶりに開会・閉会時にはクラブの鐘が会場に響き渡りました。メンバー以外はゲストの浦野氏、藤井芙美子氏、小林祐子氏。ビジターは宮地輝子メン(所沢)と浅羽メネット。(浅羽 記) ◆

◆ 4月「よる談会」メモ

4月13日(水) 晩は新都心駅西口のお馴染みの中華料理店「青蓮」で。上松、衣笠、三浦、浅羽の4氏に加えて都心から武蔵野多摩クラブの大輪メンと麻生メンが参加。昼の例会に比べてよる談会は日中の疲れを癒し、気楽に交流するひと時。今回は話題は自然と今の日本の閉塞的状況、特に青少年が向き合われている社会について。特にビジターの両氏は元リーダーで、社会人になってからも自主的に子ども達のレク活動を長年続けてきただけあって、今の「子どもの貧困」問題への強い思いを熱く語ってくれた。3月例会で浦野氏の対話教育論を聞いた後だけに、今の子ども達が捕らえられている不条理を思わずにはいられなかった。コロナ禍で活動が制限されるなか、久しぶりに他クラブのメンが参加してくれたことで盛り

上がった。感謝。写真は解散前に新都心駅前で。(浅羽 記) ◆



◆ 4月地域奉仕活動 “W4W”メモ

深尾CS事業主任のメールで今月2日(土)に各クラブは集中的に地域のゴミ拾いを進めるよう依頼があったことを思い出し、現勢力で出来ることを考えていて思いついたのが地域の居場所「き咲きてらす」(以下「てらす」)の庭のゴミ拾いと草刈り。埼玉クラブがCS活動の一つとして今期以降「てらす」支援をも検討することになっていたので、これは渡りに船。ただメンバーへの連絡が急で、さらに同日の午後、関東東部のEMC会議があり、結局参加できたのは衣笠メンと浅羽メン。「てらす」の庭にて撮影。



* 「てらす」は浅羽メンの両親宅(空き家)を地域活動に活かしたいと昨秋地元有志と始めたマイクロ・プロジェクト。小峰ビルと合わせてクラブの例会会場としても使っている。(浅羽 記) ◆

◆ 4月関東東部 マメモ

2日(土) EMCを考える会(ズーム)。大勢が参加し意見交換。事態は深刻。これと言った解決策無く、励まし合う。(出席:水無瀬、上松、浅羽)

16日(土) 関東東部第2回評議会(対面とズーム)。今期活動・会計報告、次期議案決議。次々期部長に長尾メン(千葉ウエスト)。部役員の見直し・簡略化のための委員会を発足することに決定。(出席:衣笠、水無瀬、浅羽) ◆

「1千回浸った道後温泉」

上松寛茂



愛媛県松山市にある道後温泉に4年間で1千回以上浸かったという自己記録がある。転勤族でこの期間でこれだけの記録を記した人はまずいないだろう。1991年11月から4年間、転勤で松山市に滞在した。道後温泉本館から歩いて5分ほどの温泉街の一角に住み、朝晩、毎日欠かさずに通った。本館近くの地元向けの別館「椿の湯」に行く方が多かった。小学生と幼稚園児だった長男、長女を連れての時は俳句を競い合って詠みながら温泉街の夜道を歩いた。子供たちは松山に引っ越し1カ月で伊予弁丸出しに。ここで次女も誕生した。

大学卒業直後の初任地仙台、そして秋田の東北計5年半在住で、ひなびた温泉にはまった。東京での記者生活のスタートは旅を中心としたレジャー・ヤング欄の担当だった。

支局での仕事は一線の記者が執筆した原稿の手直しや取材の指示など内勤のデスク業務。夜10時半の札止めの時間に間に合うようバイクを走らせた。至福のひとつときだった。家族そろって日本基督教団松山番町教会に通った。今は亡き妻はここで洗礼を受けた。

道後温泉は、万葉集にも登場。昔、足を痛めた白鷺が道後の湯で癒されたという伝説があり、白鷺は道後温泉のシンボルでもある。厩戸皇子(聖徳太子)が病氣療養のため、道後温泉に滞在したことが伊予国風土記逸文に記されている。何より文豪夏目漱石の「坊っちゃん」(1905年)に描かれた小説の舞台で有名。道後温泉本館1階の神の湯の石の湯船の上に小説から引用された「泳ぐべからず」と書かれた細長い朽ち果てた板がかかっていた。たぶん、現在もそのままになっていると思う。漱石は明治28

(1895)年、28歳の時、愛媛県尋常中学校(現松山東高)に英語教師として赴任、翌年熊本の第五高等学校に移るまでの1年間を松山で過ごした。そこでの俳人正岡子規との出会いと交流は生涯続いた。松山は“漱石と子規で食っている町”と言っても過言ではない。松山在任中に宮造り風の本館が国指定有形文化財に指定された。全国でここしかない皇室専用の浴室「又新殿(ゆうしんでん)」もある。昭和25年の昭和天皇の湯浴びが最後だったとか。見学コース(有料)にもなっている。❖

道後温泉・今昔

(公式サイトより)



◆ YMCA 便り

- ・4月1日(金) 第233回早天祈祷会(奨励:埼玉YMCA総主事 小谷全人氏)
- ・4月8日(金) 通年クラススタート
- ・4月11日(月) 埼玉YMCA幼稚園 Kids Academy 入園式
- ・ウクライナ緊急支援募金/4月30日(出)まで(引き続き広報等へのご協力をお願いいたします)
- ・5月6日(金) 第234回早天祈祷会(奨励:肥後 留里子氏(日本バプテスト浦和キリスト教会))

◆ YMCA の小窓から

「浦和センターのニューフェース 水上真帆さん」

(以下は水上真帆さんの自己紹介文)

4月より横浜YMCAからまいりました水上(みずかみ)真帆と申します。私がYMCAに出会ったのは、就職活動のときでした。不登校や発達障がい、家庭環境に恵まれないなどによって、力をうまく発揮できていない子どもたちのことがずっと気になっており、大学では心理学を学んでいました。まわりの関わり方次第でどんな子どもたちもその子らしくいられるのではないかと、という思いがあり、そういった子どもたちをサポートできる場所を探す中で出会ったのがYMCAでした。私のYMCAでの働きは、不登校経験や発達に課題のある子どもたちが通うYMCA高等学院からスタートし、並行して、発達に課題のある子どもたちの支援クラスにも携わってきました。さまざまな理由で、辛い思いや、生きづらさを抱えた子どもたち、またその保護者が、YMCAと関わることで表情が変わり、いきいきとしていく姿をたくさん見ることができました。一人ひとりに必要な支援は異なり、正解が見えないことや時間がかかることも多くあり、子どもたちと関わることで私自身も多くのことを学ばせてもらいました。

埼玉YMCAでの働きがスタートしてあっという間にまもなく1か月が経ちます。みなさまに温かく受け入れていただいたことを大変感謝しております。埼玉YMCAのよいところをたくさん吸収させていただき、また私もこれまで経験してきたことをもとに埼玉YMCAに貢献できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



4月19日浦和YMCAを訪問した。左から石黒さん、長谷川さん、水上さん、坂室さん。揃って「We」サイン。

お便り



小谷メン：4月に入り、浦和センターの新年度も順調にスタートしています。スタッフ体制も新たになり、新鮮な雰囲気又来館される皆さんをお迎えしております。YMCAに来ている子どもたちの表情は、新しい学年になったうれしい気持ちもあれば、新しい環境での緊張や不安感が感じられます。様々な気持ちが入り混じる時期だからこそ、寄り添い、ひとり一人に向き合う時間を大切に4月にしてまいります。

(4月から小谷総主事が埼玉クラブの担当主事になりました。)

浅羽メン：「き咲きてらす」の活動を増やそうと今月からつつろぎの場「いこいテラス」を毎週火曜の朝オープン。最初は2時間から。仲間が看板作りをしてくれます。またこの活動を通して地域のつながりが着実に増えていることを実感しています。

水無瀬メン：私は「腰痛治療」を48才の時より続けてきました。その原因は、息子とトランポリンで遊び腰をひねった事が始まりです。

以来「痛み」が有れば「医者」、「マッサージ」、「灸」、「大病院」を転々としました。「腰痛」は湿布を貼ったり、薬を飲んで一時しのぎ処置をします。(注：私の経験から。)そこで有る先生から「歩く事」を勧められ歩く事を治療と考え1日3,000歩以上を歩く様になっています。これとて調子が良くなったり、悪くなったりです。近時広告でメーカー「コンビ」の「ステップアップ」を知り、半信半疑で一日1,000歩(約20分)を繰り返すとかなり調子が良くなりました。特に雨の日でも室内で実施出来る事が幸いです。又80才の今日迄、良く二本脚で歩ける事に幸いを感ずいます。いずれにしても足

腰の痛みの治療者が増加しています。私は「腰痛」は「訓練」、「辛抱」、「頑張り」では無いかと思って治療に励む日々を過ごして居ます。良く二本脚で歩ける事に幸いを感ずいます。いずれにしても足腰の痛みの治療者が増加しています。私は「腰痛」は「訓練」、「辛抱」、「頑張り」最後は「施術」では無いかと思って治療に励む日々を過ごして居ます。

最近気になった NEWS

- ✓ 日銀は進行中のインフレにも関わらず金融緩和策を続行する。スタグフレーションの懸念高まる。1米ドルが130円近くまで円安。
- ✓ ロシアへの追加経済制裁として石炭輸入禁止。原発推進へ？
- ✓ コロナの収束を待たずに対面の活動が市中に増えている。

今後の 主なイベント

5月例会は埼玉3クラブ合同例会。28日(土)「き咲きてらす」にて開催。ゲストの野村路子氏にテレジン収容所の子供達の作品の展示とその解説。

3月例会報告 会員在籍数 7人

例会出席数	8人	ゲスト・ビジター	6人
よる談会	6人	会員出席率	86%

編集後記：新学期がスタート。学生たちがキャンパスに湯水の如くあふれているような。上松メンのエッセー、今月は氏の温泉好きがよく分かる話。他方、浦和センターに新来の上水さんは「みずかみ」と読む。「みなかみ」だと温泉になる。(SA)

Men's FOTO Gallery

